

GIGAスクール構想のもとでの 中学校外国語科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの【中学校外国語科】の指導においてICTを活用する際のポイント

1. 新学習指導要領（中学校外国語）とICT活用の関係

「1 目標」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの**言語活動を通して**、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（以下省略）

「3 指導計画の作成と内容の取扱い（2）キ」

生徒が身に付けるべき資質・能力や生徒の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、**生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図る**ようにすること。

2. 外国語教育におけるICT活用の主な利点

■ 言語活動の更なる充実

- ・英語話者との「本物のコミュニケーション」の機会の提供
- ・小規模校の生徒にとっての他校生徒や、学校規模を問わず日頃の授業では交流がない他学級の生徒等、多様な他者とのコミュニケーションの機会の提供
- ・電子メールやSNSを用いた実践的なやり取りの実現
- ・「聞くこと」や「読むこと」の言語活動におけるオーセンティックな教材の活用

■ 興味・関心の喚起と指導・評価の効率化

- ・多くの生徒が日常生活で使用していると思われるSNS上でのコメントによるやり取りを授業に導入することによる学習意欲の喚起
- ・言語活動を行うために必要な言語材料について理解・練習することを、自分のペースで進めるための教材として活用
- ・プレゼンテーション機能等の活用による板書や説明時間の短縮と、それによる言語活動が中心となった授業の促進
- ・パフォーマンステスト等評価への活用